

平成24年度技術士第二次試験問題〔建設部門〕

選択科目【9-3】都市及び地方計画

1時30分～5時

I 次の2問題（I-1, I-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えて、それぞれ3枚以内にまとめよ。）

I-1 次の2設問（I-1-1, I-1-2）のうち1設問を選んで解答せよ。（解答設問番号を明記すること。）

I-1-1 経済成長期に都市郊外で計画的に開発された住宅地において、比較的多く見られる都市計画又はまちづくり上の問題点を3つ挙げ、それぞれの内容について、その背景を含めて説明せよ。また、具体的な住宅地を想定し、その特徴を述べた上で、上で挙げた問題点のうちの1つの解決に向けた対応策と実施に当たっての留意点を記述せよ。

I-1-2 全国各地で歴史的資源を活かしたまちづくりが取り組まれているが、歴史的資源をまちづくりに活かす意義を異なる観点から3つ挙げ、それぞれの内容を説明せよ。また、具体的な地区を想定して歴史的資源を挙げ、それを活かしたまちづくりの実現に向けた具体的な方策についてハード・ソフトの両面を含めて述べよ。

I-2 次の6設問（I-2-1～I-2-6）のうち1設問を選んで解答せよ。（解答設問番号を明記すること。）

I-2-1 都心部の拠点性強化を図るに当たり、柔軟な土地区画整理手法を適用する場合の具体的方策を3つ挙げ、それぞれの特徴及び効果を述べよ。また、柔軟な土地区画整理手法の適用に際し留意すべき点を計画構想、事業実施のそれぞれの段階に応じて挙げるとともに、対応方策もあわせて述べよ。

I-2-2 鉄道駅を含む拠点的な交通結節点を1つ想定し、概要を説明した上で、バス、自動車、自転車それぞれの交通上の課題を説明せよ。また、上で想定した交通結節点又はその周辺で求められる交通結節機能以外の機能を1つ挙げ、その機能の向上を図るために交通結節点においてとるべき具体的な方策を提案し、方策を進める上での留意点を述べよ。

I－2－3 市街地に残る民有地の緑の現状と課題を述べよ。また、民有地の緑を保全又は創出するための法律に基づく制度を3つ挙げ、それぞれの特徴を説明するとともに各制度の活用を推進するための具体的方策について、あなたの考えを述べよ。

I－2－4 都市公園の長寿命化計画を策定することの意義を3つ挙げ、説明せよ。また、長寿命化計画の策定に当たり、①対象とする都市公園及び公園施設の設定、②予備調査、③健全度調査及び健全度・緊急度判定、④計画策定の各段階における留意点を挙げ、具体的に説明せよ。

I－2－5 近年、建築物等の高さをコントロールする都市が増えている。都市計画又はまちづくりの観点から建築物の高さを規制又は誘導する法制度を3つ挙げ、それぞれの内容を説明せよ。また、まちづくりにおける具体的な問題を想定して建築物等の高さを規制・誘導する手法を提案し、提案の理由と留意点を説明せよ。

I－2－6 近年、多くの地方都市において、中心商店街の活力再生が課題となっている。活力低下に至った原因を異なる観点から3つ挙げ、それぞれについて背景を含めて説明せよ。また、中心商店街の活力再生に向けて、計量可能な目標を1つ挙げ、達成するための方策を示し、その方策が効果的であると考える理由を述べよ。